

西日本有数の酪農地帯を守ろう！

事業計画など4議案を可決・承認。役員改選で大津支部の津田恵美さんが酪農部会発足以来初の女性の部会長に就任しました。副部会長には旭志支部の坂本克彦さん、乳質改善委員長に合志支部の後藤勝さんが就任。新体制で西日本有数の酪農地帯を守ろうと意識を高めました。



森部会長あいさつ



新部会長の津田さんと新役員紹介

2期6年部会長を務めた森浩一郎さんは「消費低迷や農地の減少などの問題解決には、部会員の団結と消費者への理解活動の強化が必要。女性の声と若手後継者の声を合わせて、時代に対応し乗り越えよう」と新役員にエールを送り、新部会長の津田さんは「一生懸命頑張ります」と力強くあいさつしました。



表彰を受ける齋藤畜産代表齋藤さん

〈 令和6年度乳質・乳成分の優秀者表彰 〉※上位10人を表彰しました。

- | | |
|------------|------------------|
| 1位=(株)齋藤畜産 | 6位=平山 将 |
| 2位=大村 達也 | 7位=齋藤 和彦(吉富) |
| 3位=山下 誠也 | 8位=今村 幸一 |
| 4位=右田 祐樹 | 9位=(有)デイルーファーム菊池 |
| 5位=松岡 浩幸 | 10位=梁池 朋幸 |

◇6年連続表彰=右田 祐樹

◇4年連続表彰=山下 誠也

◇3年連続表彰=今村 幸一、松岡 浩幸、平山 将



❖**日本の酪農**は、飼料価格高騰や円安の影響で経営環境は厳しい状況にあります。後継者不足や離農者も増加しています。酪農部会においても例外ではありませんが、より良い生乳を生産するために乳質改善活動に力を入れ、乳質の向上と乳量アップを図っています。

※統一部会発足時の平成9年度から目標としていた「年間生乳生産量8万トン」を平成30年度に突破し、維持し続けています。

※発足時・部会員307戸・成牛9143頭(育成牛4640頭)・生乳生産量7万2229トン。生乳の生産調整で生産者はやむを得ず生乳を廃棄した時期もありました。

❖**酪農の危機**は、コロナ禍による需要減少、飼料や燃料の価格高騰が重なったことなどが挙げられますが、酪農家(生乳生産量)が減少するとどうなるでしょうか。牛乳や乳製品の供給が不安定になり、価格高騰や品薄になる可能性がでてきます。地域経済への影響、農地の保全なども心配されます。地域が一体となって酪農を守りましょう。



おうえん
しても〜